



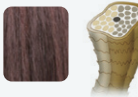
クオラインは、
ひとつ先のステージへ。

QUOLINE

多様なデザインに対応するクオライン

異なる髪の個性にキメ細かくアプローチし、しなやかな美しさへと変えるクオライン。
アクティブバランシング機能を応用し、ストレートだけでなくカール領域までデザイン幅を広げることが可能になりました。

プロダクツ ラインアップ

ジャンル	第1剤 医薬部外品				
アイテム名	T 280	T-C 250	T-C 80	CA-T 200	
					
容量	400g	400g	400g	400g	
pH	9.2	8.9	7.0	8.8	
アルカリ剤	炭酸水素アンモニウム / モノエタノールアミン	炭酸水素アンモニウム / モノエタノールアミン / 強アンモニア水	L- アルギニン	炭酸水素アンモニウム / アンモニア水	
アルカリ度	6.5mL	3.5mL	0.7mL	4mL	
還元剤 医薬部外品 毛髪軟化成分 化粧品	チオグリコール酸アンモニウム液	チオグリコール酸アンモニウム液 / L- システイン	チオグリコール酸アンモニウム液 / L- システイン	システアミン HCl / チオグリコール酸アンモニウム	
総還元力 (TG換算)	10.7%	10.7%	5%	7%	
クセの種類	捻転+縮毛の混合毛 	縮毛 		波状毛 	
対象毛	ダメージレベル 1	ダメージレベル 1	ダメージレベル3~4 (既ストレート毛)	ダメージレベル 1~2	
アンダーレベル	5 以下	5 以下	12~14	5~11	
香調	ウディフローラルの香り				
ジャンル	第2剤 医薬部外品				
アイテム名	OX	ミルクOX			
					
容量	800g	800g			
pH	3.0	3.0			
酸化剤 医薬部外品 セット成分 化粧品	過酸化水素水	過酸化水素水			
香調	ウディフローラルの香り				

還元剤の種類と特徴

チオグリコール酸アンモニウム液 / チオグリコール酸アンモニウム	システアミン HCl
〈カールの強さ〉 アルカリ領域 ★★★★★ / 弱酸性領域 ★★	〈カールの強さ〉 アルカリ領域 ★★★★★ / 弱酸性領域 ★★★★★
〈仕上がりの質感〉しなやか〜硬めのしっかりしたハリ	〈仕上がりの質感〉ふんわりやわらかいカール
・毛髪内部まで作用する。アイロンの熱を活かしてクセの伸びやカール形成をサポートし、持続性が高い。 pHを変化させることで様々な状態の毛髪の施術に適する。	・キューティクルの近傍のコルテックスに作用し、カール形成の効果がシステインに比べ、低 pH でも高いカール形成力がある。デリケート毛

1st クリーム 化粧品			1st クリーム 化粧品	毛髪保護クリーム 化粧品
CA-C 130	CA-C 110	T-C 50	CA-T-C 100	アジャスト 0
				
400g	400g	400g	400g	400g
7.7	6.0	6.0	7.7	5.0
アルギニン / アンモニア水	—	—	アルギニン / アンモニア水	配合成分 クエン酸 (pH 調整剤) クエン酸 Na (pH 調整剤) ジチオグリコール酸 ジアンモニウム (安定剤)
1mL	—	—	0.7mL	
システアミン HCl / システイン	システアミン HCl / システイン	チオグリコール酸アンモニウム / システイン	システアミン HCl / チオグリコール酸アンモニウム / システイン	
7%	7%	1.9%	5%	
デリケート毛				
				
ダメージレベル 1～3	ダメージレベル 3～4	ダメージレベル 4～5 未満	ダメージレベル 3～4 (既ホット系カール毛)	
5～13	5～15	15～17	12～14	
フルーティフローラルの香り			フルーティフローラルの香り	フルーティフローラルの香り

2nd クリーム 化粧品	2nd ローション 化粧品	熱ケア用オイル 化粧品
アフタークリーム	アフターローション	ヘアオイル
		
800g	400mL	70mL
6.0	6.0	
臭素酸 Na	臭素酸 Na	
フルーティフローラルの香り		

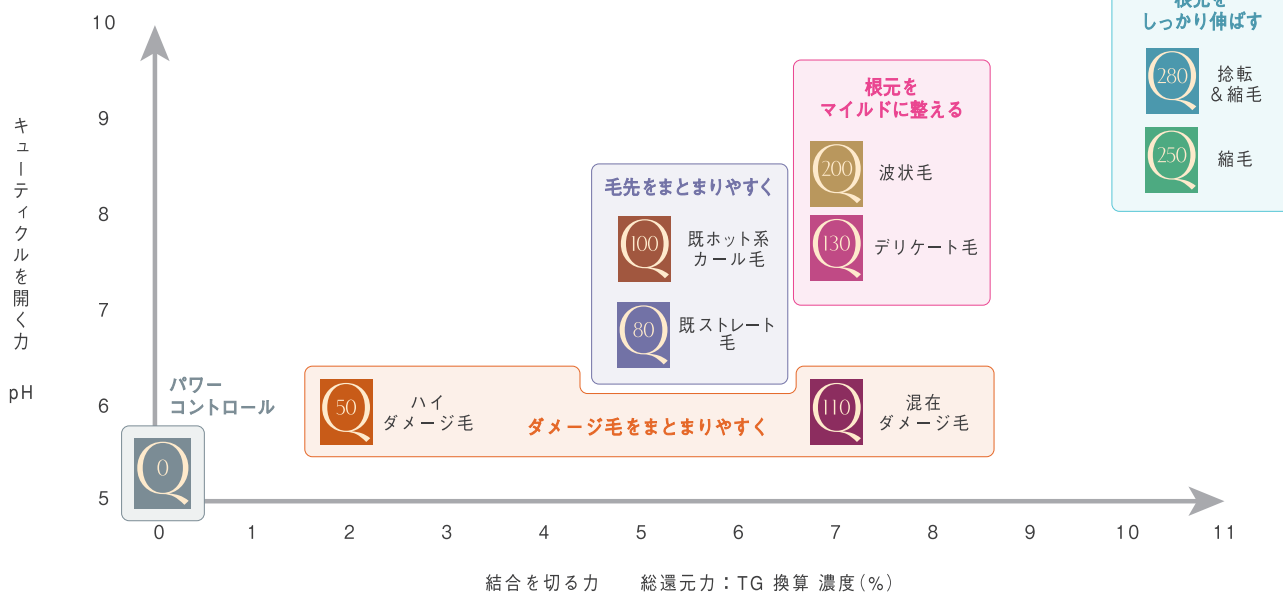
L- システイン / システイン		グリーンフローラルの香り
〈カールの強さ〉 アルカリ領域 ★★/ 弱酸性領域 ★	〈仕上がりの質感〉しなやかな弾力・ハリ	配合成分 ビタミンC誘導体※1(保護) エルカラクトン※2(保護) マカデミアナッツ油(保湿) スクワラン(保湿) ※1 テトラヘキシルデカン酸アスコルビル ※2 γ-ドコサラクトン
高い。チオグリコール酸やの施術に適する。	・主に表面に作用し、しなやかな弾力、ハリ、コシを与える。 デリケート毛の施術に適する。	

ストレート シルエット コントロール

薬剤選定を
動画でチェック



クセの種類に合わせてセレクト



ダメージに合わせてコントロール

ストレート履歴	ストレート履歴無し		ストレート履歴有り		
ダメージレベル	1	2	3	4	5
施術履歴 アンダーレベル	バージン毛	ライトダメージ毛	ミドルダメージ毛	ハイダメージ毛	ポーラス毛
クセの種類	アルカリ施術無し 摩擦/熱/UVダメージ 5以下	アルカリ施術 年間1回程度 6～11	アルカリ施術 年間6回程度 12～14	アルカリ施術 年間12回程度 15～17	アルカリ施術 ハードリビート 18以上
捻転 & 縮毛との 混合毛	280	280:0(5:1)	80 ^{※1}	アジャスト 0 ^{※2} 80 ^{※1}	アジャスト 0 (毛髪保護の為)
縮毛	250	250:0(5:1)	80 ^{※1}	アジャスト 0 ^{※2} 80 ^{※1}	
波状毛	200	200:0(5:1)	80	アジャスト 0 ^{※2} 80	
デリケート毛 (加齢毛・うぶ毛)	130	130:0(5:1)	80	アジャスト 0 ^{※2} 80	

(比率は組み合わせ比)

複雑履歴 (ブリーチダメージなど) がある場合

デリケート毛 (複雑履歴による広がり)	カラー履歴			
	混在ダメージ毛 (ブリーチハイライト)	ハイライト アンダーレベル / 14～15	ハイライト アンダーレベル / 16～17	ブリーチ アンダーレベル / 18 以上
		110	アジャスト 0 ^{※2} 110	アジャスト 0 (毛髪保護の為)
	ブリーチダメージ毛 (全頭ブリーチ)	アンダーレベル / 15～16 50	アンダーレベル / 17 アジャスト 0 ^{※2} 50	

※1 クセの戻りが大きい場合はバージン毛の薬剤を組み合わせます 例：縮毛 ダメージレベル 3 の目安 80 : 250(5 : 1)

※2 ダメージレベル 4 は事前にアジャスト 0 を塗布

(比率は組み合わせ比)

放置時間目安：15 ～ 30 分

塗布終了後 15 分の時点で軟化チェックを行ってください。
※ダメージレベルが高い毛髪は早めにチェックを行ってください。

髪質に合わせてコントロール

普通毛以外の場合、左記の目安から髪質に合わせて
放置時間や薬剤の組み合わせを調整してください。



ケーススタディ

Case1. ストレート履歴なしの波状毛	Case2. ストレート履歴ありの波状毛
ストレート履歴なし 根元 中間～毛先 パーজন毛 ライトダメージ 200Q 5:1 0Q	ストレート履歴なし ストレート履歴あり 根元 中間 毛先 パーজন毛 ライトダメージ ミドルダメージ ハイダメージ 200Q 5:1 0Q 80Q 事前塗布 0Q → 80Q

(比率は組み合わせ比)

アイロン&クリーム放置でコントロール

毛先まで“まとまり”を出したい

毛先は“自然”に見せたい

“ボリューム”をキープする

スリーク	ナチュラル	ソフト
タイトなまとまり ダウンステムで真下へ向かってスルー	自然で丸みのある ややステムを上げ、内巻きにスルー	ふんわりボリュームキープ 内巻きに、毛先もしっかりカールさせながらスルー
前髪のカール		
1 1stクリーム放置 毛先を丸く形づけた状態で放置する	2 アイロン後のカール 仕上がり近くにアイロンで丸く形づくる	3 2ndクリーム放置 再度、毛先を丸く形づけた状態で放置する

FAQ

アイロン時はどこに注意すれば良いですか？

1. テンション：髪をたるませず、面をキレイに整えた状態でアイロンスルーします。アイロンを強く握って毛束を挟むと、根元が折れる原因になるので注意します。
2. 温度：髪の負担を考慮し、180℃以下でご使用ください。ダメージが高い場合は140～160℃まで温度を下げます。
3. スライス：根元のスライスは薄く(1cm未満)、頭皮に対し90度に引き出し、スルーします。中間から毛先は、スライスを厚め(3cm程度)にし、スルーします。

2剤3種(OX, ミルクOX, アフタークリーム)はどのように使い分けるのが良いですか？

アフタークリーム(化粧品)は化粧品の CA-T 200、CA-C 130、CA-C 110、T-C 50 とセットで、OX、ミルクOX(医薬部外品)は医薬部外品の T 280、T-C 250、T-C 80 と使用します。ミルクOXはアプリケーションから直接塗布し、アイロン後の乾いた髪へ負担少なく塗布が出来ます。より髪のまとまりをお求めの場合にはOXがおすすめです。

QUOLINE STRAIGHT

クオライン 縮毛矯正 / ストレート プロセス

01.

毛髪診断&薬剤選定

仕上がりのイメージを共有し、
ドライ状態で髪質などをチェック

シャンプー前後*で髪の
コンディションを Wチェック

※ シャンプー前（ドライ） シャンプー後（ウェット）

ドライ



ウェット



BEFORE



02.

プレシャンプー

塗布前にしっかりと髪の
汚れを落とす

シャンプー後の濡れた状態で、
再度髪のコンディションを確認

03.

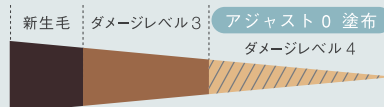
前処理

ダメージLv4以上の
部位に事前に塗布し、
毛髪を保護



product:
アジャスト 0

ダメージが高い部位には事前に、アジャスト 0 を塗布



※ 軟毛でデリケート毛の場合はダメージレベルに
関係なく、アジャスト 0 を塗布

04.

1剤 / 1stクリーム塗布

髪のコンディション（クセの状態・ダメージ）
に合わせ、ムラなく塗布



毛束の
引き出し角度

Point

頭皮に対して90度に引き
出す



放置前に
ひと手間

Point

塗布終了後、毛流れを整
えてから放置

テクニカルポイントを
動画でチェック



このような方におすすめ

- 髪の広がり気になる方
- 毎日ヘアアイロンを使用する方
- 定期的にストレートパーマをかける方
- 朝のスタイリングを楽しみたい方

QUOLINE STRAIGHT PROCESS

- 1 毛髪診断と薬剤選定
- 2 プレシャンプー
- 3 前処理
- 4 1剤 / 1st クリーム塗布
- 5 自然放置
- 6 軟化チェック
- 7 中間水洗
- 8 熱ケア
- 9 ドライ
- 10 アイロン
- 11 2剤 / 2nd クリーム塗布
- 12 自然放置
- 13 プレーンリンス & トリートメント
- 14 アフターケア & 仕上げ

05.

自然放置

常温で放置



07.

中間水洗

プレーンリンス後、薬剤の流し残しが無いように、お湯を溜めてよくすすぐ

08.

熱ケア

ドライ前にオイルを薄く、均一に塗布することで、毛髪を熱ダメージから保護



product:
ヘアオイル

※ ストレートプロセスのみ

06.

軟化チェック

軟化の度合（1剤 / 1st クリームの作用）をチェック

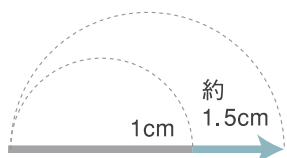
3つのチェック方法

引っ張り法



ゆっくりと優しく引っ張る
伸びと戻りで軟化度合を確認

根元のチェック法



1cmの毛髪が1.5cmまでスムーズに伸びる

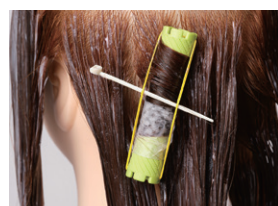
コーミング法



薬剤をふき取り、テンションをかけずに粗齒でコーミング

中間毛先のチェック法

ロッドチェック法



クリーム塗布後にロッドをスパイラル状に巻いておき、ロッドを外す



OK ケセの戻りが
少なければOK

NG ケセの戻りが
多い場合はNG

Point

OK カールのリッジが
くっきり、均一

NG カールのリッジが
弱く、不均一

QUOLINE STRAIGHT

クオライン 縮毛矯正 / ストレート プロセス

09.

ドライ

仕上がりのイメージを意識して、
テンションをかけずにドライ

中間ドライ (8割ドライ※)



※ドライ目安→8割:触って少しひんやりする程度

Point

11.

2剤 / 2ndクリーム塗布

根元から毛先まで塗り残しが無いように手早く塗布

ミルクOX塗布 (アプリーターでの塗布) 2ndクリーム塗布 (ハケでの塗布)



根元→中間毛先の順に指でよくなじませながら塗布

ミルクOX (医薬部外品) は T 280、T-C 250、T-C 80と組み合わせでのみ使用 (自然放置: 5分)

10.

アイロン

仕上がりのスタイルに合わせ、自然なシルエットになるよう
アイロンスルー



根元

1cm厚でスライスを取り、頭皮
に対し90度に引き出し、テン
ションを保ちながらスルー
(温度: 180℃以下)

Point



中間～毛先

毛先までコームで毛流れを整
えながら、アイロンがコーム
の後を追うように毛先までス
ルーし、整える

Point

12.

自然放置

塗布終了後、
毛流れを整えて放置

OX / ミルクOX

5分

アフタークリーム

10分

このような方におすすめ

- 髪の広がり気になる方
- 毎日ヘアアイロンを使用する方
- 定期的にストレートパーマをかける方
- 朝のスタイリングを楽しみたい方

QUOLINE STRAIGHT PROCESS

- | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---------|-----|------------------|------|--------|------|-----|-----|------|------------------|------|-------------------|--------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 毛髪診断 & 薬剤選定 | プレシャンプー | 前処理 | 1 剤へのテクニーククリーム塗布 | 自然放置 | 軟化チェック | 中間水洗 | 熱ケア | ドライ | アイロン | 2 剤 / 2nd クリーム塗布 | 自然放置 | ブレーンリンス & トリートメント | アフターケア & 仕上げ |

13.

ブレーンリンス
& トリートメント

クリームを十分に流し、
トリートメントで仕上げる

BEFORE



AFTER

自然でまとまりのある髪へ



14.

アフターケア & 仕上げ

仕上がりのヘアスタイルをイメージ
し、ドライ



product:
ヘアオイル

仕上げ方法



ヘアオイルを塗布

クオライン ヘアオイルを髪全体に塗布することで、しなやかな仕上がりに



ドライ方法

ドライヤーの風を上から下へ当て、毛流れを整えるように仕上げる

ホット系カール シルエットコントロール

ホット系カールの履歴に合わせてセレクト

“くっきり” から “なめらか” カールまで幅広いカールデザインに対応



CA-T 200

化粧品

くっきり

やわらかなくっきり動きのある
ホット系カール

毛髪軟化成分や補修成分を
バランスよく配合。
ストレートやホット系カールにも対応します。



CA-T-C 100

化粧品

なめらか

繰り返しのホット系カール毛に
なめらかカール

50～60℃の低温設定でも
リッジが出せる独自処方。
熱ダメージから髪を守ります。

ダメージに合わせてコントロール

ホット系カール履歴	ホット系カール履歴無し		ホット系カール履歴有り		
ダメージレベル	1	2	3	4	5
施術履歴	バージン毛	ライトダメージ毛	ミドルダメージ毛	ハイダメージ毛	ポーラス毛
髪質	アルカリ施術無し 摩擦/熱/UVダメージ	アルカリ施術 年間1回程度	アルカリ施術 年間6回程度	アルカリ施術 年間12回程度	アルカリ施術 ハードリビート
普通毛	200	200:0 (5:1)	100	アジャスト 0 ^{※2} 100	アジャスト 0 (毛髪保護の為)

※2 ダメージレベル4は事前にアジャスト0を塗布

(比率は組み合わせ比)

放置時間目安：15～30分

塗布終了後15分の時点で軟化チェックを行ってください。

※ダメージレベルが高い毛髪は早めにチェックを行ってください。

加温条件でコントロール

加温温度	60℃前後	70℃～90℃
	よりなめらか (持続性：低い)	よりくっきり (持続性：高い)

加温時間	5分	目安 10分	15分
	回転数：少ない 毛量：少ない		回転数：多い 毛量：多い

ケーススタディ

Case1. ホット系カール履歴なし	Case2. ホット系カール履歴あり
ホット系カール履歴なし 中間～毛先 ライトダメージ カールを出す位置から塗布 200 5:1 0	ホット系カール履歴なし ホット系カール履歴あり 中間 ミドルダメージ 毛先 ハイダメージ カールを出す位置から塗布 事前塗布 0 → 100

(比率は組み合わせ比)

加温操作（加温温度によるカールの出方の違い）

加温温度により、仕上りのカールやスタイリングの方法が変わります。

カールの強さ	なめらか ←————→ くっきり
	
温度目安	60℃前後 70℃～90℃
水分量	————→ 少なくなる
スタイリング	ウェットの状態でスタイリング ドライの状態でスタイリング

カールチャート（20mm/加温60℃10分）

★おすすめ薬剤

ダメージレベル1（バージン毛）	
CA-T 200 ★	CA-T-C 100
	
バージン毛でもくっきりとして均一なカール	

ダメージレベル3（ミドルダメージ毛）	
CA-T 200	CA-T-C 100 ★
	
バージン毛でのリッジに近い均一なカール	

FAQ

軟化チェック時のカールが不十分な場合はどうしたら良いですか？

- 1st クリームの放置時間を3分～5分プラス【最大放置目安：30分】（※加温時の熱による負担を軽減させる為）
- ワインディング後の加温での操作
 - ー軟化チェック時のカールがやや弱い：加温時間を5分程度プラス
 - ー軟化チェック時のカールがかなり弱い：加温温度を5℃～10℃プラス
3. ワインディングのロッドを1段階細いロッドに変更

ワインディング前はドライヤーで乾かす必要がありますか？

ドライヤーで乾かす必要はありません。
ただし加温効果が下がらないよう、タオルドライで余分な水分を減らしワインディングします。

QUOLINE HOT CURL

クオライン ホット系カール プロセス

BEFORE



01.

毛髪診断&薬剤選定

仕上がりのイメージを共有し、
ドライ状態で髪質などをチェック



カールが必要な位置や仕
上がりのカールの強さな
どを共有

03.

前処理

ダメージLv4以上の
部位に事前に塗布し、
保護しておく



product:
アジャスト 0

ダメージが高い部位には事前に、アジャスト 0 を塗布



※軟毛でデリケート毛の場合はダメージレベルに関係なく、
アジャスト 0 を塗布

02.

プレシャンプー

塗布前にしっかりと髪の毛の
汚れを落とす

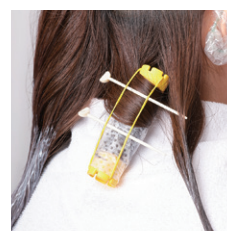
シャンプー後の濡れた状態の
髪で再度、コンディションを確認

04.

1stクリーム塗布



カールが必要な位置に
合わせ、塗布



塗布後にカールチェック
用のロッドを巻いておく

このような方におすすめ

- やわらかい印象にしたい方
- ヘアアイロンが苦手な方
- ヘアアレンジを楽しみたい方
- 朝のスタイリングを楽しみたい方

QUOLINE HOT CURL PROCESS

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---------|-----|------------|------|--------|------|-----|---------|----|-------|-------------|--------------|--------|-------------------|--------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 毛髪診断 & 薬剤選定 | プレシャンプー | 前処理 | 1st クリーム塗布 | 自然放置 | 軟化チェック | 中間水洗 | 熱ケア | ワインディング | 加温 | クーリング | 2nd ローション塗布 | 自然放置 (7分+7分) | ロッドアウト | ブレーンリンス & トリートメント | アフターケア & 仕上げ |

05.

自然放置

常温で放置



髪質により
15～30分で設定

07.

中間水洗

ブレーンリンス後、
薬剤の流し残しが無い
ように、お湯を溜めて
よくすすぐ

09.

ワインディング

仕上り(カールの形状)のイメージに合わせ、ロッドを選定

ワインディング

1st クリーム塗布位置より1回転上までワインディング



ロッド構成

トップ ● 24mm×5
ミドル ● 22mm×10
アンダー ● 20mm×4



06.

軟化チェック(カールチェック)

チェック用のロッドを外し、
カールのチェック



カールのリッジが
くっきり、均一



カールのリッジが
弱い、不均一

08.

熱ケア

ワインディング前にオイルを薄く、均一に塗布することで、毛髪を熱ダメージから保護



product:
ヘアオイル

QUOLINE HOT CURL

クオライン ホット系カール プロセス

10.

加温

仕上り（カールの形状）に合わせ、
加温温度や時間を調整



OK

カールのリッジが
くっきり

NG

カールのリッジが
弱い

12.

2ndローション塗布

ロッド1本1本に丁寧に塗布



防水ロッドの場合

ロッドが付いた状態で塗布



非防水ロッドの場合

ロッドを外し、ピンニング
してから、塗布

11.

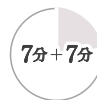
クーリング

ロッドの熱を十分に冷ます

13.

自然放置 (7分+7分)

2度付けを行ない、漏れな
く塗布する



14.

ロッドアウト

カールを崩さないように
ロッドを外す

このような方におすすめ

- やわらかい印象にしたい方
- ヘアアイロンが苦手な方
- ヘアアレンジを楽しみたい方
- 朝のスタイリングを楽しみたい方

QUOLINE HOT CURL PROCESS

- 1 毛髪診断 & 薬剤選定
- 2 プレシャンプー
- 3 前処理
- 4 ハートクリーム塗布
- 5 自然放置
- 6 軟化チェック
- 7 中間水洗
- 8 熱ケア
- 9 ワインディング
- 10 加温
- 11 クーリング
- 12 2nd ローション塗布
- 13 自然放置 (7分+7分)
- 14 ロッドアウト
- 15 プレーンリンス & トリートメント
- 16 アフターケア & 仕上げ

15.

プレーンリンス & トリートメント

2nd ローションを十分に流し、
トリートメントで仕上げる

BEFORE



AFTER

やわらかく動きのあるスタイルへ



16.

アフターケア & 仕上げ

仕上がりヘアスタイルをイメージ
し、ドライ



product:
ヘアオイル

仕上げ方法



ヘアオイルを塗布

クオライン ヘアオイルを髪全体に塗布することで、しなやかな仕上がり



ドライ方法

カール部分をねじりながらドライ



ARIMINO

株式会社アリミノ

お客さま窓口 0120-945-334

受付時間/9:00~17:00(祝日、年末年始を除く月~金曜日)